

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 57 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2021 年 10 月 19 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 30

2. 場所 Webex によるオンライン会議

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

(出席委員) 木倉 (主査), 浅見 (副主査), 白井 (幹事), 松本 (務), 大岩, 清水, 影山,
亘, 島, 澤, 北瀬, 市橋, 高橋 (淳) (13 名)

(代理出席委員) 木下 (松本 (光) 代理) (1 名)

(欠席委員) 山根, 小佐古 (2 名)

(常時参加者) 広瀬, 樋口, 下条, 高橋 (秀), 木下, 堂守, 村松, 菊池, 工藤 (9 名)

(欠席常時参加者) 石川, 蓬田 (2 名)

4. 配付資料

F4SC57-1 第 56 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)

F4SC57-2-1 標準委員会の活動状況

F4SC57-2-2 原子燃料サイクル専門部会活動状況報告【抜粋】

F4SC57-3 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の作業進捗状況報告について

F4SC57-4-1 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の転載
許諾に関する通信審議結果

F4SC57-4-2 転載許諾関連の事務局コメント (その 2) への対応の変更について

F4SC57-5-1 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準 : 202X”
標準改定原案に対する事務局コメントへの対応について

F4SC57-5-2 日本原子力学会標準「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及
び検査基準 : 202X」(改定案) 【新旧比較表】

F4SC57-5-3 日本原子力学会標準「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及
び検査基準 : 202X」(改定案) 【完本】

F4SC57-5-4 転載許諾条件への対応について

F4SC57-5-5 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準 : 202X”
標準改定原案に対する転載許諾等への対応について (部会向け案)

F4SC57-6 事務局からの白黒印刷検討依頼への対応案について

F4SC57-7 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 3 の作業状況について

参考資料

F4SC57-参考 1 標準委員会 専門部会運営通則

F4SC57-参考 2 原子燃料サイクル専門部会 標準策定 5 か年計画(2021 年度版)

5. 議事

幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の 2 / 3 以上の委員数を満足している旨の報告がなされた。

(1) 前回議事録確認

- 前回議事録（案）として F4SC57-1 の確認が行われ、コメントなく了承された。

(2) 標準委員会等の活動状況について

- 幹事より、F4SC57-2-1 及び F4SC57-2-2 に基づき、標準委員会及び原子燃料サイクル専門部会の至近の活動状況について報告がなされた。
- 正誤表管理強化に関する部会での議論について、当分科会では発刊済みの標準で誤記が確認されれば、標準誤記載対応ガイドラインに基づき対応する。

(3) 作業会 1 の活動状況等について

- 松本（務）委員より、金属キャスク標準の改定作業の進捗状況について、F4SC57-3 に基づき報告がなされた。
- 今回の分科会では、転載許諾等に伴う修正方法の審議をいただく。

(4) 転載許諾に係る通信審議結果について

- 前回部会の後、転載許諾手続きに伴う 5 件の図削除の指摘に対し、通信審議の結果、作業会 1 の提案で了承された旨、幹事より F4SC57-4-1 に基づき報告がなされた。
- 松本（務）委員より F4SC57-4-2 に基づき、通信審議によって了承された図削除 5 件のうち 1 件については、通信審議の後に転載許諾が得られたため、当該図は削除せず、残りの 4 件のみを削除する提案がされ、審議の結果、4 件の図の削除が了承された。

(5) 転載許諾等の対応について

- 松本（務）委員より、F4SC57-5-1～F4SC57-5-4 に基づき、転載許諾手続きに伴う出典の図表近傍への記載案、転載許諾条件への対応案、作業会 1 チェックによる記載の適正化案について説明がなされ、審議の結果、提案どおり了承された。
- F4SC57-5-4（転載許諾条件への対応）については、記載方針は認められ、改定への反映を作業会 1 で行い、分科会 3 役で確認し部会報告することが了承された。なお部会

報告前までに当該改定箇所を分科会委員へ配布することとした。

- 幹事より、F4SC57-5-5に基づき、部会への報告案について説明がなされ、F4SC57-5-1のコメント対応一覧表の表現を見直し（コメント者の削除等）、部会に報告することが了承された。
- なお、今後の改定作業の参考のため、引用文献の転載許諾手続きに関する費用について、松本（務）委員より標準課に確認いただくこととした。

（６） 白黒印刷の検討依頼に対する対応について

- 印刷費削減のためカラー頁の白黒印刷について標準課から検討するよう依頼があり、F4SC57-6に基づき松本（務）委員より作業会１で検討した結果の説明がなされ、審議の結果、提案どおり了承された。

（７） 作業会３の作業状況について

- 大岩委員より、F4SC57-7に基づき、コンクリートキャスク標準の改定に向けた作業会３の作業状況について報告がなされた。
- 部会に向けては添付資料４の５か年計画について報告することとし、記載内容については、一部以下のように記載を見直すことが確認された。
 - ・ コンクリートキャスク標準の改定作業を 2022 年 4 月開始ではなく 2022 年 1 月開始とする。
 - ・ 金属キャスク標準の 2021 年 12 月は「改定」ではなく「制定」とする。（他の部会、分科会の 5 か年計画の表記を参考とする。）

（８） その他

①次回分科会

- ・ 2022 年 1 月（予定）

以 上